

(第59号)

The School Health No 59

昭和40年10月20日発行  
(隔月1回1日発行)

発行 日本学校保健会  
栗山 重信

東京都港区芝西久保  
明舟町10  
電話(501) 3785  
9974

振替口座東京 98761

印刷所 伊東進歩堂

頒価1部25円(送料共)

# 学校保健

財団法人 日本学校保健会会報

格的な教育の目的は、健全な国民の育成に在り。この目的を達成するために、国家及び社会の責任を重んじ、個人の自主的責任を充ち、心身の健全な成長を期す。この教育基本法に基き、

## 第十五回全国学校保健大会を迎えるにあたって

### 時評にかえて

◇十一月十三日から三日間、わが国のメツカともいうべき聖地伊勢市において第十五回全国学校保健大会が開催されるが、この大会をわが学校保健史上に歴史的意義をもつものにしたものである。

◇開催地元県の学校保健関係者間において、大会準備に創意工夫を重ねられ、「近代生活を生きぬく子どものために、みんながそれぞれの立場で、いかに学校保健に参加するか」というスローガンを掲げて全県総ぐるみの学校保健の推進運動をくりひろげられるという事は、まことに秀抜斬新な企てである。

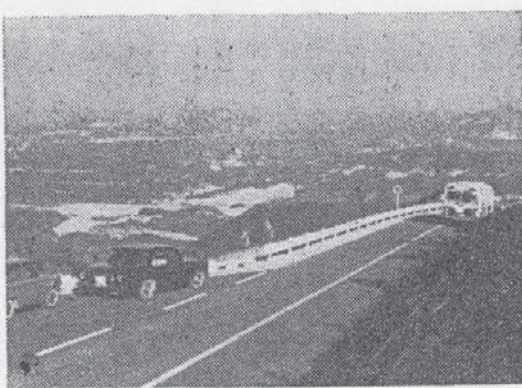
◇「近代生活を生きぬく子どものために」とは、いみじくも次代国家をなう児童生徒に対するわが学校保健の目的を抉って表現したといつてよい。

◇全国各地域社会それぞれの環境と生活条件の中に育つ子どもたちが、健全に近代生活を生きぬく、またこれを生かぬかせるという、そこに学習の向上に培うべき学校保健というものが大きく浮かびあがってくる。たとえば、近代工業都市における公害疾病から敢然、子どもを護らねばならぬ、そこに学校保健関係者の重大な職責がある。

◇また「みんながそれぞれの立場でいかに学校保健に参加するか」のプラモデル的実践として、この伊勢大会では、学校教職員はもとより、とくに学校保健の対象の中心となる児

童生徒を参加させ、さらに父兄関係者を加えて、全県の運動を展開されるという事は、学校保健のあるべきもち方を端的に示している。

◇昨秋のオリンピック東京大会の反省から、政府の呼びかけで、今春以来ようやく全国に浸透してきた、体力づくりの国民運動も、実はその基礎づくりの根本の土台を、わが学校保健の推進振興におくべきである。この学校保健推進途上において、われ



われは幾多の障壁に阻まれ、様々の問題を包蔵している。これが現時点における偽りのない実態である。

◇おしなべて、現段階において、いわゆる学校教育なるものの目指すところ、ただ学習の向上をはかることにのみ偏りし、学校保健はあたかも添えもののように扱われているのが学校保健の今日まで半歩を運んできたゆえんであり、これが学校保健関

係者の共通の悩みのたねなのである

◇近ごろ精神衛生の問題がだいぶ重視されてきたが、健全な精神は健康な身体に宿るといふことを、単なることわざにおわらせることなく、また病いを得てはじめて医薬の有難さがわかるという程度にとどめるべきではない。三重県でも、四日市の工業地帯周辺では、煤煙、ガスによる公害で、とみに恐怖と重大関心が高まり、地元でも種々対策が講じられているようであるが、病害の予防ということが大前提であり、この役割が学校保健の重要課題としてクロージ・アツプされかけはじめた。

◇これまで、学校保健が、学校教育というものの中にきわめて重要なものとして占めねばならない、その位置づけのために、われわれは努力してきたが、さらに、この大会を一新機として、学校内の教職員に地域社会の父兄に住民に対して、そのより深い認識と理解をかちとるようこの大会を盛りあげたいものである。

(日本学校保健会副会長・東京都学校保健会会長・可児重一)

### 第59号 目次

◇時評にかえて

◇全国学校保健大会参加の意義

◇藍綬褒章に輝やく柴田・渡部両氏

◇学校安全教育の問題

◇讀みたい・この人々(群馬富岡)

◇栄えある文部大臣表彰を受ける人々

◇学校環境衛生の解説について

△写真V伊勢大廟・鳥羽湾の明光・伊勢志摩スカイライン(以上本頁)  
△まゆ(7頁)三重県学校薬剤師会長・加藤律三氏提供)

# 全国学校保健大会参加の意義

◇全国学校保健大会は、本年度で第十回になる。全国五万近い高・中・小学校にとつて、この年一回の全国大会のもつ意味は、年々必ずしも同じからず、またこの大会によせる全国の要望も、従来もまた現在も、決して単一でなく、非常に複雑なものがあつたし、またあると思う。

◇まず、これを歴史的にみると、終戦直後の大会にあらわれていたように、校長、保健主事、養護教諭、或いは学校医、学校歯科医、学校薬剤師等、それぞれのおのが仲間の全国的な集まりとして、たとえば学校医は学校医としての全国的な集まりを求めて、親睦をはかりつつ、一面では、そのもつ一つの強い要求を貫徹しようといった大会が、初期には見られた。これはつまり、それぞれの「職域大会」であつたのである。

◇しかしながら、この全国大会の必要性は、そのような各職域の要求貫徹だけにとどまらず、学校保健全体の向上発展の実現のためにあるのではなからうか。このように考えてくると、それぞれの学校の学校保健全体を向上発展させるためには、各個の職域の努力も必要ではあるが、そればかりでなく、各職域の努力をひきだす「何物」が必要であり、それをもちとくり広げる必要があるのではなからうか。つまり、各職域の人々がそれぞれ熱意をもっているというだけではないに、そこに全体に熱意をもたせる「もつ」がなければなら

らないのではないか。また、それをひきだしていくものは、必ずしも各学校に共通ではないという場合がある。したがつて、このような点を考えていく大会でなければならぬと考えられるのである。

◇こう考えてくると、学校における責任者たる校長こそが何といつてもかなめであり柱である。だから、人は、校長が学校保健に熱意をもつようになれば、爾余の問題は簡単だ、というかも知れない。しかし、その校長に熱意をもたせることは、いつたい誰が、どこからするのかと考えると、問題はもう一度循環して、もとへ戻つてくる。しかもその場合には、誰がということよりも、その校長が学校保健の具体的な事をやらなければならないと思う、そして思わせるものは、いつたい何かといえ、それは「人間の関係」よりもむしろ「事」からの関係に移つてくるのではなからうか。本年の大会はこのようなところに最も大きな足場があるのではなからうか。

◇このたびの伊勢の大会は、開催の準備に三年をかけ、学校の校長以下教職員、また学校保健の肝腎な対象の生徒児童自身、それに父兄まで含めて、学校保健関係の一切の人々、それぞれどういふ問題をもち、どういふことをしなければならぬかというところからスタートして、考慮検討を進めるといふ、今年の大会

のもち方は、まことに異彩のあるものとして、われわれのこれに寄せる期待は大きいものがある。

◇と同時に、ふりかえると、この全国大会のあり方もち方について、毎年の苦勞してきた、その十四年間の苦勞の上に、今年さらには大きく進められるわけであるが、参加する人々にとつて、果して、参加する人々の属する学校の保健の、明日からの問題解決に、すぐに役に立つかどうかそこに若干考えさせられるものがある。しかしながら、ここで大会に参加するということ、おのれの学校の保健推進に、明日からすぐに役立つものでなければならぬ、という心がまえをもつて参加するならば問題はさらによりよい方向に展開するといふものではあるまいか。

◇昨年の秋のオリンピック東京大会の反省ともいふべきものが、今年の春に展開したのであるが、このオリンピックの古代から近代への歴史の中から二、三の名言をひろつてみると、それが、わが全国学校保健大会の歩みに、一種のソフィステイケーション(暗示的条件反射ともいうか)を投げかけているかのようなのである。争いをやめて祭典を復活し、たがいな友愛をむすぶならば、祭典と祭典との間に幸福な年を迎えるであろう。(古代・ゼウス神話) オリンピックで重要なことは、勝つことではなく、参加すること

にある。(近代・ヘンシルヴェニア大僧正) 人生でもつとも重要なことは、勝者であるということではなく、その人が努力したかどうかということである。(近代・クーベルタン)

◇全国学校保健大会はどうあらねばならないかという考え方もあろう。だが、大会に参加して、大会をどうしようかという考え方に切りかえていく、そしてこの大会から、おのれにとつて、おのれの学校にとつて、これだというものをつかむ努力が、もつとも重要なものではなからうか。

◇伊勢大会に参加する人は、全国の学校数五万からみると、その一割にも満たない。けれども、何千という学校の参加である。そしてこの何千の学校が現在もつている問題は、千差万別である。何千の一人々々もつ具体的な問題、また同じ問題でも程度の差もある、それらの点をじゆうぶんふみかまえて、この大会の成果があがるようにする必要があるので、これまでの大会に参加して研究協議の実際場面に出席してみると、次のような発言が往々にして聞かされたのである。それは――大会は今年はじめてやるのではない、すでに十何回もやつてやるのだ、昨年と同じようなことをやつてきたのだ、昨年の研究と同じようなことをやるのは無意味だ――というのである。しかしながら、そのような積みあげ方式とか前の大会でやらなかつた

## 保健に!



パンビタンは  
タケダの総合ビタミン剤  
家族みんなのビタミンです

# パンビタン

赤ちゃん用……………液  
お子様用……………ベレー・ベレーチョコレート  
成人用……………錠・M(ミネラル入)

★新製品  
強力パンビタン **ゴールド**  
アリナミンF配合 効力持続性





ことをやろうという考え方は、或る意味では、必ずしもよいとはいえないのではなからうか。というのは、全国五万の学校のもつている悩みというものは、五年、十年たつても他の学校に存在しているのである、A校の今年の悩みが、B校にとつては三年後の悩みになるかも知れない。しかも社会状況、或いは教育、保健の状況も変わつてくるとすれば、やはり同じような悩みが毎年の大会の一隅に座を占めていて然るべきではないか、また全国大会として、やはり全日本のもつ悩みを常にもち続けているという意味では、同じような問題や研究討議が毎年あるのが、むしろ当然だといえるのではないか。

◇いいかえれば、大会は、一種のいわゆる「大会族」とでもいわれるような人だけの大会であつてはならない。この大会は、全日本の学校教育の、また学校保健の「縮図」であることはもちろんであるが、同時に、全日本の社会の「縮図」でなければならぬのである。したがつて、このような意味をもつ大会は、一「大会族」の集合にならないように、むしろ、学校保健にそれほど関心のない人や背を向けている人々をこそ集めなければならぬのだとさえいえる。大会が、全国各学校の各校一つ一つの現実の悩みをもち集まつていくべきだと思ふ。

◇如上、感想し、かつ考え、述べてきたような立場で大会が進められるならば、この伊勢大会の報告書なるものは、毎年と同じような問題部面があるにせよ、やはり本年の年報的報告として、全国五万の学校の多くのものにとつて、非常に参考になる、あえてこのような線を強調したい。くりかえすが「大会族」といわれるようなご定連とか或いは全国に数少ない学校保健のベテランの大会になることこそ、考えさらされるのである。

◇かくいえばとて、われわれは、わずか三日間の大会で、一つの全日本の学校のもつ悩みが、解決されると思わない。しかし、五十に近い班別研究において、いわば同じ瞬間に五十人近くが発言しているという、この大会の持ち方を考えてみると、この三日間に発言する人の数をかぞえたら、おそらく全参加者が何回も発言することになり、少なくとも全日本五万の学校の一割に近い人々が発言しているというやり方で進められているように思ふ。したがつて、やはりこれは、十五年間の大会の「苦心」といふものが相当積み重なつて現在の大会の持ち方になり、また進

め方になつていようように思われる。◇しかも思ふ、この大会の持ち方、進め方というものは、ただ大会の事務局が受け持つものではなくて、全参加者のその背後に控えた五万の学校の関係者全体がもつていふことを。このように意味において、この大会に参加するすべての人々が、前述のような考え方と立場で終始されるならば、この大会の成果が揚がるだけではないに、大会を通して全日本の学校保健がかなり明確な路線で前進するといえるのではなからうか。

◇ただし、このように考えてきても年一回の大会である、各職域の、医師は医師、薬剤師は薬剤師の職域の顔合せは、年一回の機会だけに、これを無視してはならないし、また無視しては、決して大会の持ち方が万全であるとはいえない。そして各職域だけのもつ要求の貫徹ということも唱えられるであろう。しかしながら、与えられた時間と経済の枠の中で、それをどうしていくかということは、やはり今後にも残されるであ

らう。けれども、そのような限りなき要求も、研究協議を積み重ねて、何とか解決していきたいものである。◇こんどの伊勢大会は、児童生徒を参加させ、また父兄を参加させようと努力しているが、これは年々にもつと強く考へていくべきことである。子どもが現実に加わらない縮図はおかしい。また今回は一般教師を多く入れようと努力している。教師と子どもと親と、これが「学校教育」の「ご定連」である。このご定連の参加を強くとり入れていく主権者側の配慮に対し、深く敬意を表する。学校保健は子どもの問題である、その言いつきをきこう、また子どものための親の言いつきもきこう、しかもその子どもを受け持つている担任の教師の言いつきもきこうということ、これら三者の言いつきをききながら、この大会を開くことに非常な意義がある。この精神こそが、繰々前述の大会参加の意義にかよふのである。◇血のかよう大会の意義を盛りあげようと努力された、地元三重県関係者各位に、重ねて謝意を表する。

### 藍綬褒章に輝やく

柴田宜輔(富山) 渡部重徳(東京) 両氏

菊花かおる「文化月間」を前に、わが学校保健関係では、学校医界から柴田宜輔氏(富山県学校保健会長)・学校歯科医界から渡部重徳氏(日本学校保健会監事)の両氏が藍綬褒章を受章された。両氏に対し、近く叙勲の栄をうけられる諸氏とともに、次号に詳細を掲げて、その榮譽を讃えることとする。

△編集部より▽本号は紙面の都合で、神奈川県学校保健主事部会、学校歯科医大会・同研究協議会、学校薬剤師研修会その他の記事を割愛、次号に掲載することにした。次号は、これまた少し遅れるが、12月に、「伊勢大会報告」を兼ねて発行することのご諒承を乞う。

学童の保健栄養剤



カワイ

完全乳化  
効力安定

# カワイ肝油Dロップ

製造発売元

河合製薬株式会社

東京都中野区野方町2の1171

1粒中成分 { 学校用 ビタミンA 3000国際単位、ビタミンD 300国際単位  
市販用 ビタミンA 3500国際単位、ビタミンD 350国際単位

最近の新聞、テレビ・ラジオの報道や、昨今の社会実情、交通量などからみると、児童の傷害事故が非常に目立ち、今後ますます増勢の傾向にあるようである。そこで、これに対する積極的な対策が強く望まれ、社会教育の立場からも、青少年健全育成のための努力が払われていくのが現状である。

そしてこれは、児童の保健、生命の安否に直結する問題であるだけに、社会全般の暖かい愛護と指導と励ましが必要なわけである。

とくに児童をとり扱う学校としては、安全教育に関して、細心の指導と管理をしなければならないことはいうまでもない。安全についての知識、態度をじゅうぶん習得させ、その習得した知識、態度が日常生活場面に確りつきと生かされてこそ、効果があるものと期待されるのである。しかしこれは、ただ知識、態度ばかりでなく、性格上の面からも、きわめて重要な役割があり、今後の研究課題としての関心事でなければならぬと思う。そこでこの課題をと

## 学校安全教育の問題

千葉県習志野市立鷺宮小学校

保健主事 高屋 赴夫

- 1、安全教育の基本的事項
  - (1) 現代人としての具備すべき条件
    - イ 精神の安定
    - ロ 豊かな注意力・判断力
    - ハ 高度な運動能力
    - ニ 新しい習慣形成
    - ホ 危険に対する正しい構え
  - (2) 安全教育実施上の注意事項
    - イ 危険にのみ心をうばわれるな
    - ロ 計画的に徐々に実施すること
    - ハ 慎重に注意深く実施すること
    - ニ 管理は徹底的であること
    - ホ 試行錯誤は許されない
  - (3) 安全に関する習慣形成の留意事項
    - イ 最初の経験を正確に
    - ロ 年令的に許されるなるべく早い時期に
    - ハ 繰り返しの実践
    - ニ その場でその都度の指導
    - ホ 家庭・学校・社会の一貫した態度で例外を認めない。
- 2 災害避難における留意事項
  - (1) 教師の適切な判断と冷静沈着な態度が児童に与える安心感はいわめて大きい。
  - (2) 避難時にとくに必要な用具としては、携帯ラジオ、携帯マイク、無線機、標識旗等の用意が大切である。
  - (3) 停電時の連絡方法の工夫が必要である。また本部や対外関係における連絡はメモが好ましい。
  - (4) 平常時の安全点検と非常口の明示は忘れずに指示しておかなければならない。
  - (5) 平常の訓練では、地域に即したあらゆる場合を想定して訓練すべきである。

- (6) 留意事項としては、左記のことが考えられる。
  - 人にさわらない
  - 口を結んで早く集合(計測して必ず評価をする)
  - あわてない(正確な情報を知らせる)
  - 自分で自分を守る意識をもつ
- 3、体育指導と安全教育
  - (1) 体育における巧緻性・敏捷性の育成より、防衛本能を伸ばす運動を重視する。
  - (2) 体育における社会性の育成より、集団行動、規則遵守、情緒の安定

- 4、安全教育実施上の問題点
  - (1) 四領域における位置づけ。
  - (2) 計画と実践活動、社会から学校、学級、個人の教育の徹底
  - (3) 教師の日常観察と安全に対する診断テストを実施し、ひとりひとりの安全性を学級集団の中で、どう指導していったらよいか。
  - (4) 安全に対する調査段階として、自律性・衝動性・神経質傾向・社会的適応性の四つの性格特性により分析してみるのも一つの方法である。

## 読えたい。この人々

群馬県甘楽・富岡地区の学校保健と医師会

県立富岡東高等学校  
保健主事 平野 一雄

(写真は、去る七月佐渡で開催の関東甲信越静保健主事研究会。東京都立台東商高油下清司氏撮影)



学校保健の推進にあたって、教師たちがどんなに熱心であつても、学校医をはじめ専門医関係者の協力が得られなければ、実績があがらないことは当然であるが、私たちの地区——甘楽郡富岡市の医師会の学校保健に対する積極的協力は、他にあまり例を見ないであろうと思うほどで、学校保健関係者一同、全く感謝のことはもたないくらいである。

学校保健会長の滝川三雄氏が、さきに管下の医師会員にはかつて臨床検査センターを設立したので昨年、県下唯一のもので、また他府県においても、わずか人口五万内外の郡市にこのような臨床検査センターを置いているところは、そう多くあるま

## 製薬メーカー初の一流製品



- 衛生的、活動的で、割安
- 水洗トイレの使用も安心
- タテに吸収する特殊紙綿
- 肌ざわりよく、モレない
- 権威者に生理相談できる

生理相談券つき(新しい紙綿)



# エゼール ナプキン

すみれマークがシンボル

兼用袋入り(薄手30コ)・化粧箱入り(薄手7コ・厚手8コ組合せ)各100円

### 伊勢大会に

## 栄えある文部大臣表彰をうける人々

本年度の文部大臣表彰をうける方々は、左に掲げる人々に決定した。学校長四氏、保健主事一氏、養護教諭七氏、学校医二十二氏、学校歯科医十一氏、学校薬剤師六氏、学校保健委員会三団体——心から、感謝と祝意を表したい。

◇校長(四氏)◇  
重野 幸(新潟市・礎小) 北川伝栄(石川県松任町・松任小) 奥野熊三(三重県松阪市・松阪高) 林 末喜(長崎市・長崎小)

◇保健主事(一氏)◇  
小沢庫二(小田原市・新玉小)

◇養護教諭(七氏)◇  
内田喜代子(埼玉・浦和校) 田口一枝(岐阜県加茂郡東白川・神上小) 森下スミエ(京都市・洛東高) 岡部乃志(彦根市・洛東小) 小林三枝喜(大阪市・港高) 平野静子(鳥取市・鳥取西高) 釘名キクエ(大分市・碩田中)

◇学校医(二十二氏)◇  
村上邦男(青森市・青森高) 石川嘉一郎(岩手県江刺市・玉里小) 藤原慶一郎(秋田県南秋田郡天王町・東湖小) 久米井愛郎(山形県飼海郡松山町・松山小) 白石秀夫(福島市・湯野小) 木村芳男(茨城県東茨城郡美野里町・竹東小) 加治修治(群馬県吾妻町・東町中) 武本吉敏(千葉市・本町小) 原田嘉武(東京都中央区城東小) 川口良平(横浜市・瀬谷小) 藤田泰造(長野県岡谷市川岸小) 林 正明(甲府市・相生小) 林 正(愛知県東加茂郡足助町西部中) 館野 久(名古屋市中・桜山中) 武藤勇哉(京都市・洛東中) 粕谷治一(神戸市・魚崎小) 岸本正義(長崎市・

出雲高) 安井俊二郎(松山市・番町小) 吉沢正利(北九州市・向洋中) 南 竹夫(熊本県上益郡甲佐町・緑川中) 日高 正(宮崎県宮崎郡清武町清武中) 高岡 義(鹿児島市・甲南高)

◇学校歯科医(十一氏)◇  
佐沢隆三(宮城県加美郡新田町・新田中) 小島徹夫(東京都目黒区・中目黒小) 山下長蔵(富山県婦負郡山田村・山田小) 大谷一郎(福井市・湊川小) 内田松蔵(姫路市・飾磨小) 山田安芸雄(和歌山県海南市・黒江小) 小山 篤(岡山県玉島市・玉島北中) 岡田雅一(広島県安芸郡江田島町・江田島小) 加藤一男(山口県宇部市・西岐波中) 坂本良作(高知市・三里小) 古味信吉(佐賀県小城市・津津町・牛津中)

◇学校薬剤師(六氏)◇  
磐井源司(東京都北区・稲付中) 望月静雄(静岡市・青葉小) 細部新一郎(大阪市・聖和小) 北岡又市郎(奈良県高市郡明日春村・飛鳥小) 友納英一(福岡市・南当仁小) 釋 忠男(高松市・香川大学附属高松小)

◇学校保健委員会(三団体)◇  
函館市立柏野小学校保健委員会(代表・上野慶博) 栃木県大田原市立宇田川小学校保健委員会(代表・阿久津幸男) 徳島県西郡石井町藍畑小学校保健委員会(代表・近藤 肇)

い。しかもまた現在、精神衛生センターも計画して、開所も間近になつているのである。

私の勤務する学校の保健委員会は春秋二期に開いてすでに十年を越えるが、学校医全員はもちろん、多数の医師までが出席されて、偉観を放ち、名物的存在として知られている。

ここ数年來、当地区の年中行事として行なわれていたのは、児童生徒の救急看護実技講習会、とくに保健養護担当者を対象とするその講習会には、検査センターや看護婦学校など医師会所属の施設を開放し、會長みずから各科の医師を動員して、質疑応答、詳細にわたつて指導されている。このように、おのおの医院をもつ医師が多数、打算を度外視して長時間にわたつて教師たちを指導して下さることは、けだし稀有のことではあるまいかと思う。

また保健会長の有力な協力者たる本校の校医神部氏は、定期健康診断の際に、その実施に先だつて保健所に連絡して、間接撮影フィルムで疑わしい生徒をチェックして、その記録によつて診断を行なつておられる。さらにまた、特殊貧血症の生徒については、眼科医と連絡、調査して、眼瞼貧血生徒を峻別し、その資料に基づいて内科検診を実施して、千百余名中から約七十名の貧血症生徒を発見、保護者の了解のもとに、検査センターで血液検査を行ない、血色素70%以下24、赤血球 $4000$ 万未満33マトクリット40%以下42という結果を得、要治療者には家庭に連絡して治療をすすめ、その他は要注意者として個人指導を行なつていながら、これが驚くほどの好結果をおさめて

検査を受けた生徒や父兄から感謝されている。しかもこれについては手数料程度のわずかな負担しか生徒にかけていないのである。

これは最近いわゆる国民体力つくりというか、「根性論」が盛んに論議されている折柄、集会や体育授業中の貧血生徒が頻発する、その対策から実施したのであるが、体力増強根性養成の唱道が、ややもすれば、虚弱者に対し、いわゆる一種の「しごき」というか無理強いになるおそれがあるともみられる、その意味において、これは一つの警告ともなるかと思う。本校は女子高校なので、時に婦人科領域の指導が必要になるがこのような場合は婦人科医に個人的に指導をうけられるようにしてある。

さらに本校の歯科医である松坂氏は、81才の高令であるが、元氣かくしやく、数年前から飲料水と斑状歯の關係について研究されて、県教委保健課を動かし、本年同課から県下全校に斑状歯調査の通牒を出させるまでに至つた。

なお、教職員の心電図受診の計画も立てているが、当地区の医師会の積極的な協力と助力は非常なもので精神科、耳鼻科、その他あらゆる医療の分野にわたつて、随時適切に相談に応じ、或いは群馬大学医学部に或いは専門病院に、速やかに連絡、紹介の労を吝しまれないことは、当地区学校保健の非常な強味である。

そして、やがて開所される精神衛生センターの事業が発足した暁にはただに学校保健推進の上からばかりでなく、一般地域社会に益するところ大なるものがあると期待されている。(甘楽・富岡地区保健主事会長)

い。しかもまた現在、精神衛生センターも計画して、開所も間近になつているのである。

私の勤務する学校の保健委員会は春秋二期に開いてすでに十年を越えるが、学校医全員はもちろん、多数の医師までが出席されて、偉観を放ち、名物的存在として知られている。

検査を受けた生徒や父兄から感謝されている。しかもこれについては手数料程度のわずかな負担しか生徒にかけていないのである。

これは最近いわゆる国民体力つくりというか、「根性論」が盛んに論議されている折柄、集会や体育授業中の貧血生徒が頻発する、その対策から実施したのであるが、体力増強根性養成の唱道が、ややもすれば、虚弱者に対し、いわゆる一種の「しごき」というか無理強いになるおそれがあるともみられる、その意味において、これは一つの警告ともなるかと思う。本校は女子高校なので、時に婦人科領域の指導が必要になるがこのような場合は婦人科医に個人的に指導をうけられるようにしてある。

さらに本校の歯科医である松坂氏は、81才の高令であるが、元氣かくしやく、数年前から飲料水と斑状歯の關係について研究されて、県教委保健課を動かし、本年同課から県下全校に斑状歯調査の通牒を出させるまでに至つた。

なお、教職員の心電図受診の計画も立てているが、当地区の医師会の積極的な協力と助力は非常なもので精神科、耳鼻科、その他あらゆる医療の分野にわたつて、随時適切に相談に応じ、或いは群馬大学医学部に或いは専門病院に、速やかに連絡、紹介の労を吝しまれないことは、当地区学校保健の非常な強味である。

そして、やがて開所される精神衛生センターの事業が発足した暁にはただに学校保健推進の上からばかりでなく、一般地域社会に益するところ大なるものがあると期待されている。(甘楽・富岡地区保健主事会長)

い。しかもまた現在、精神衛生センターも計画して、開所も間近になつているのである。

私の勤務する学校の保健委員会は春秋二期に開いてすでに十年を越えるが、学校医全員はもちろん、多数の医師までが出席されて、偉観を放ち、名物的存在として知られている。

ここ数年來、当地区の年中行事として行なわれていたのは、児童生徒の救急看護実技講習会、とくに保健養護担当者を対象とするその講習会には、検査センターや看護婦学校など医師会所属の施設を開放し、會長みずから各科の医師を動員して、質疑応答、詳細にわたつて指導されている。このように、おのおの医院をもつ医師が多数、打算を度外視して長時間にわたつて教師たちを指導して下さることは、けだし稀有のことではあるまいかと思う。

また保健会長の有力な協力者たる本校の校医神部氏は、定期健康診断の際に、その実施に先だつて保健所に連絡して、間接撮影フィルムで疑わしい生徒をチェックして、その記録によつて診断を行なつておられる。さらにまた、特殊貧血症の生徒については、眼科医と連絡、調査して、眼瞼貧血生徒を峻別し、その資料に基づいて内科検診を実施して、千百余名中から約七十名の貧血症生徒を発見、保護者の了解のもとに、検査センターで血液検査を行ない、血色素70%以下24、赤血球 $4000$ 万未満33マトクリット40%以下42という結果を得、要治療者には家庭に連絡して治療をすすめ、その他は要注意者として個人指導を行なつていながら、これが驚くほどの好結果をおさめて

三共株式会社 SANKYO

### 乗物酔に

強いききめが1日中つづく...



ペット 2錠 4錠 10錠 100錠

### よい子のビタミン

総合ビタミン・ミネラル剤



シオノギ製薬



# の解説について

保健体育審議会から文部大臣に対し、学校環境衛生の基準が答申されたのは昨年の六月三日であった。この答申にそつて、基準を作成した委員が主となつて解説を書いたものが本書であつて、その内容は一般教員に、学校環境衛生についての知識をもつてもらふことを主眼としたものである。

本書は第一章は学校保健と学校環境衛生、第二章は答申にそつて、学校環境衛生の基準をあげ、第三章に各環境条件の衛生管理として、それぞれの項目の解説が述べられており今後学校環境衛生の指導基準となるものである。

学校における環境衛生は、その検査は学校薬剤師が行なうことになつて行なうのではなく、教員、児童生徒が一体となつて行なうようになることが望ましいことである。そのためには定期検査は年間学校保健計画に予め加えておくことが必要である。参考として、定期検査を行なう期間を一覧表にあげておく。

**日常検査**  
学校環境衛生という点からは日常活動が必要である。環境条件は常に変つていくものであるから、一年に一度とか二度の定期検査を行なうだけでは良い環境条

件を維持することができない。そのためには、毎授業日あるいは毎時間に、環境条件について注意を払ふ必要がある。これを日常検査として示してある。

**日常検査を完全に行なうには、検査の結果を簡単に記入することのできる検査表を作り、各教室に備えることが必要である。そのためには保健主事、養護教諭が主体となつて検査表を予め作成することが第一歩である。**

### 日常活動の重点

今回の解説書は日常活動に重点をおいて述べられているので、解説を讀んでいただければ良いわけであるが、その重点としていふところを項目毎にあげてみよう。

#### ○照度および照度環境

照度については、各教室において見え方の難易およびまぶしさの有無について検査することになつていふことは教室に入つたときに、まず教室全体を見直し、暗いところはないか、あるいは直射日光がさし込んでまぶしいところはないかを調べることを指している。教室によつては直射日光が窓側の机の上に当つていふのに、教師は別に気にしないで授業を進めており、児童生徒は頭をかかえているという光景を見ることがある。このような状況で授業を進めても能率が上ることはない。カーテンを引かせる等適当な措置を行なわせるようにする必要がある。

また雨の日とか曇つた日に、教室の廊下側が非常に暗くなることがある。このような場合に、何ルクス位あつたら良いかという点については机上面で一〇〇ルクス以上あること

が望ましいとされている。暗いとこゝろで一〇〇ルクス以上というのは現状とは可成りかけ離れたものであるが、眼の疲労という点から考えると最低一〇〇ルクスはほしいといふことから示されたもので、将来は各教室とも人工照明の設備をすることが望まれる。また人工照明を設計する場合に廊下側・窓側というように縦に点滅のできるような配線をし、必要な場所だけ点灯できるようにしておくことが望ましい。

#### ○騒音環境および騒音レベル

騒音については、各教室で、教室外騒音によつて教師の声が明瞭に聞きとれなかつた日時別回数調べ、これを記録しておくことになつていふ。

学校が影響を受ける騒音には交通騒音その他による校外騒音と、音楽室、工作室などの音とか廊下を走る音などによつて起る校内騒音とがある。自分の学校の周囲は静かで騒音は問題はないといふところでも、校内騒音は必ずあるものである。授業中にこれらの騒音によつて教師の声が聞こえないことがあつたらこれを記録しておき、これを集計すると、どの教室が騒音で困つていふかを知ることが出来る。一方校内騒音については直ちに適切な措置をとる騒音発生を防ぐことも必要なことである。

#### ○教室の自然換気

教室の換気は、殆んど自然換気に頼つていふといつて良いであろう。換気を良くし、快適な教室環境を保つことを目的としたものである。日常検査としては、臭気の有無、むし暑さの有無、窓の開閉状態の良

否によつて、教室内の換気の良否を調べることになつていふ、同じ教室内にいると余り感じないが、外から入つて来ると、むつとするような臭があつたり、暑い感じがすることがある。このような状態は換気が悪いのであるから、窓を開いて換気にとめる必要がある。

#### ○教室の空気

教室の空気の日常検査としては、温度および湿度について行なうことになつていふ。

教室にはよく温度計が置いてあるが、時々教師が必要に応じて利用している程度であろう。特に湿度の測定については、湿球の水壺に水が入つていなくなつたり、ガーゼがよこたえられていふ温度計であるから、これを活用することが望ましいわけである。湿度を測定することが望ましいわけである。湿度を測定するようにする。またこの測定はできるだけ児童生徒に行なわせるようにし、温度の測定と同時に温度感覚を知らせるようにした

い。温度の測定は小学校四年の理科で教えられるが、温度計をみることはわかつていふ、温度感覚は平行していふことも多い。そのため一五度といつても、それが暑いのか寒いのか

## 強力な殺菌、消毒、漂白、脱臭剤

# 日曹ハイクロン



厚生省指定法定消毒薬  
食品添加物合成殺菌料

- 主な用途
- プールの水の消毒と藻の発生防止
  - プールの底壁、便器、脱衣室の床の消毒
  - 簡易水道の水の消毒
  - 貯水池の藻の発生防止
  - 学校のプール、食堂、食器、污水溝等の消毒、殺菌、脱臭

日本曹達株式会社

本社 東京都千代田区犬手町2の4

# 学校環境衛生

ということとは全然わからないということが多い。そこで温度の測定と同時に温度感覚を身につけるようにしたいということである。

温度については一度以下の場合には採暖するという事になつており、暖房をする温度が示されている。

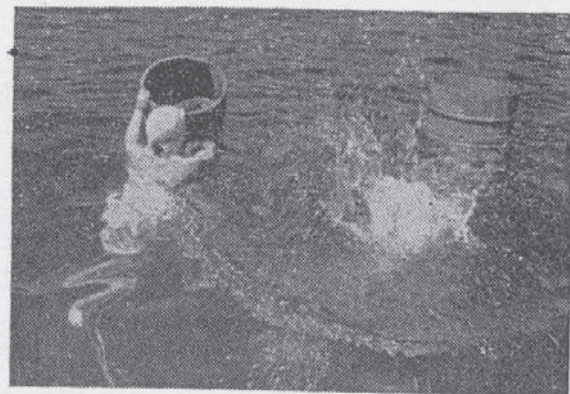
空気については日常検査としては温度、湿度だけであるが、定期検査としては次のような項目があげられている。

- 温度・湿度・気流
- 感覚温度
- 二酸化炭素
- じんあい
- 落下細菌
- 熱輻射
- 一酸化炭素

これらの中には測定の容易なものも多いので、定期検査だけにまかせずに、日常活動にも取り上げることが望ましい。

殊に一酸化炭素については、測定法も比較的容易なことと、毒性も強いものであるから、時々測定することが望ましい。暖房時には教室その他でも必要であり、給食室では、時々測定し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を防ぐ必要がある。

或が高等学校で鉄筋校舎に改造したところ、クラブ活動の部屋で炭火暖房で勉強していたところ一酸化炭



素中毒を起した例があるが、これも今迄の自然換気の良い木造校舎での習慣がぬけきらず、自然換気の悪い鉄筋校舎で同じように暖房したために起つたものである。

### 〇机、いすの整備

机、いすについては、児童生徒の身体に適合したものを使用するようにしたものである。そのためには、先ず学校内の机、いすについての台帳を作る必要がある。自分の学校にどの程或の大きさの机、いすがいくつあるのかわからないようでは、適合を考えることはできない。

適合については机面の高さは、座高の三分の一は下腿長を加えたもの、いすの座面の高さは下腿長となつてゐる。今迄身長によつて机、いすの高さを考えることが行なわれたが、これは望ましくないので、下腿長を必ず測定し、これから適合を考えるようにしなくてはならない。

このような適合を考へて配当された机、いすについては、保健室にその台帳があり、常に机、いすの配当状況がわかるようにしておく必要がある。

日常検査としては、配当状況・清潔状況および破損の有無について行なうことになつてゐる。この場合の配当状況というのは、今述べたような配当を行なつても、途中でこれが狂つて来るようでは、折角の適合が意味がなくなつてしまふ。保健室に備へられてゐる配当の台帳と、実際の配当が常に合つてゐるかどうかを調べることにしている。特に講堂その他へいすを持ち出した後などで、配当状況の狂うことがあるので、それらにも注意する必要がある。

### 〇黒板の管理

教室において黒板に書いた字がはつきり見えるかどうかは、学習能率の向上の上に大きな影響を与える。黒板は常に見易い状態にしておくために、その管理は常日頃から心掛ける。なくてはならないことの一つである。

黒板の日常検査としては、黒板面の白墨粉ふきとり状況の良否について行なうことになつてゐる。黒板の管理上留意すべき点は、黒板を愛護するということである。すなわち、黒板面に画鋲をさして穴をあけたり水ぞうきんで拭くことはさげなくしてはならない。次に重要なことは、常にきれいにした黒板拭きで、黒板を良く拭くということである。これは解説に数字が示されているので、それを見ていただくことにするが、黒板をていねいに拭くかどうかによつて非常な差が出て来ることを知つて

ほしい。そのためにはまず黒板拭きを常にきれいにしておくことが必要で、更に黒板の状況を調べるようにする。

### 〇飲料水の管理

学校における食中毒、伝染病の発生の原因として、飲料水があげられることが多い。最近も、台風によつてあふれた汚水が、地下の水槽に流入し、これが原因となつて赤痢の発生を見た例もある。

飲料水の衛生管理という点で最も重要なことは、消毒をじゆうぶんにすることである。飲料水の消毒法としては現在塩素消毒のみが認められている(水道法)ので、学校における飲料水もすべて塩素消毒したものを使用することにし、「残留塩素は給水栓における水で、遊離残留塩素〇・一ppm(結合残留塩素の場合は〇・四ppm)以上を保持すること。ただし、原水が病原生物によつて著しく汚染されるおそれのある場合は、遊離残留塩素は〇・二ppm(結合残留塩素の場合は一・五ppm)以上とする」と判定基準に示されている。

水道水を使田している場合には、既に消毒が行なわれてゐるが、井戸水その他を使用している場合には学校で消毒を行なわなくてはならないこの目的には種々の器械も考案されておき、簡単にはサラシ粉の上澄液を滴加するのも良い。〇・一ppmと示されている根拠は、〇・一ppmあれば赤痢菌は一五―三〇秒接触することによつて死滅するという成績によつたものである。このような消毒を行なつたとしても、これが正しく保たれてゐるかと

## 学校保健衛生測定器

- |     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 塵埃計 | 温度計 | ガス検知器 |
| 照度計 | 湿度計 | 水の検査器 |
| 騒音計 | 通風計 | 食品検査器 |

柴田化学器械工業株式会社

東京都台東区上野花園町7番地  
電話 東京(821)代表5121

脳の働きをよくする

ギヤバ製剤 ガンマー・アミノ酸

# ガンマロン

錠・液・注



第一製薬 東京・日本橋 ★文献進呈

うかについて、日常検査では、給水栓水について残留塩素・外観・臭・味について行なうことになつて、残留塩素の測定については、水道を使用している学校ではその必要がないという声もあるが、前に示した例のように水道水であつても汗染を受けることもあるので、やはり日常検査を行ないたいものである。

残留塩素の測定は、検水にオルトトリジン試液を加えると黄色を呈するので、その呈色度を標準と比べて測定する。しかし標準と比色を行なわなくても、黄色を呈するかどうかを調べる程度でも良い、と考へて行なうことによつて、飲料水というものは消毒しなければならぬものであることを感じさせたいとも考へている。

**○水飲み、手洗い場の管理**  
児童生徒に手洗いを良くするようにといつても、手洗い場所がじゅうぶんになくは、実行はできにくい。そのためは少なくとも児童生徒数五〇人に三個以上の水栓を分散配置しておく必要がある。

日常検査としては、故障の有無および清潔の良否について検査することになつて、水栓数はあつても故障しているという例を見るので、これらは直ちに修理し、清潔に使用できるようにしておく必要がある。

**○足洗い場の管理**  
足洗い場の意義は地域によつて差があるようで、足洗い場の必要な地域においては清潔に使用するように指導する必要がある。また足洗い場の構造については、汚れた水で足を洗わないように、二槽以上にすると

か、流水で洗うようなものにしなくてはならない。

**○便所の管理**  
便所の管理といふことは、学校では仲々問題の多いものである。構造としては水洗便所が望ましいが、現実に汲取便所も多いので、その構造に合った管理をしなくてはならない。

日常検査としては、清潔、換気の状態、臭気の有無および施設、設備の故障の有無について行なうことになつて、その他とびらの取つては、毎日一回以上クレゾールせつけん液またはこれと同等以上の効力をもつもので消毒することになつてい

**○ごみの処理**

学校におけるごみは紙屑その他可燃性のものが多いが、衛生上問題となるのは給食とか家庭科の実習の残菜からなるちゆうかい(厨芥)である。これは処理方法によつてはハエやゴキブリ、ネズミなどの発生源となることが多いので、この処理を中心として考へられている、即ち、ちゆうかいを密閉できるふたのある容器にいれ、原則として毎日(少なくとも三日以内)焼却することが望ましい。とかくちゆうかいが非衛生的な処理をされている学校が多いので特に注意しなくてはならないである。

**○ネズミ、ハエ、蚊、ゴキブリの生息**

これら衛生害虫が少なくとも学校内からは発生しないようにするためその生息状況あるいは幼虫の発生状況を調べるものである。最近では学校のネズミの生息がふえているよう

だしいエダニの被害を受けている学校も多いようである。これらの生息がみられたならば、直ちに駆除対策を行なうことが望ましい。

**○学校の清潔**

学校では所謂大掃除とよばれるものや、毎日の掃除、小学校などでは衛生検査とか清潔検査とよばれるものなどが行なわれているが、これを定期検査、月例検査、日常検査としてあげてある。これらの清掃が良く行なわれるようにすべきであろう。

**○学校給食の食品衛生**

学校給食の食品衛生管理については、一年に数回の検査ではほとんど無意味に等しいので、毎給食時に給食従事者の責任者が、みずからチェックするような日常検査表を予め作成しておく、これに自分で記入する。自己監視制度を重点において、日常検査表については一応のモデルを示してあるので、これに準じて教育委員会単位あるいはそれぞれの学

校で作成することにして、日常検査表の内容は、給食用設備およびその取扱状況、給食従事者の衛生管理状況および検査保存状況、給食用食品鑑別状況を含んでいる。

**○水泳プールの管理**

水泳プールの管理の要点は、プールの汚染の防止とプール水の消毒とである。日常検査はこれを含んだもので、残留塩素、透明度、プールおよび付属設備の使用状況および故障など、入場者の管理等を調べることになつてい

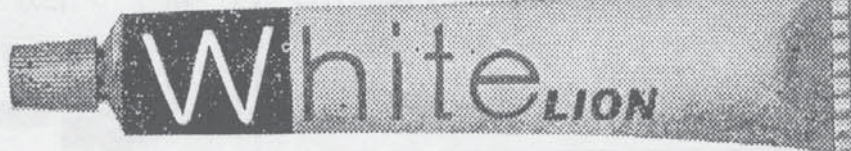
**○むすび**

今回刊行された「学校環境衛生の解説」は一般教師に学校環境衛生について知つて貰うために書かれたものである。多少内容に読みにくい点もあるがその点は飛ばして読んで良いわけで、この内容を理解して日常活動を活発に行なうような態勢を作つてほしいものである。(文部省体育局学校保健課・専門員・元山正)

**定期検査一覧表**

期間(月)	項 目
4~5	飲料水の管理
"	学校給食の食品衛生
"	机、いすの整備
5	学校の清潔
5~6	水飲み、手洗い場の管理
"	足洗い場の管理
"	便所の管理
6~7	ごみの処理
"	ネズミ、ハエ、蚊、ゴキブリの生息
7~9 上旬	教室の空気
7~8	水泳プールの管理
9~10	騒音および騒音レベル
"	学校給食の食品衛生
"	机、いすの整備
10	学校の清潔
10~11	照度および照明環境
"	黒板の管理
11~12	換気の検査
1~12	教室の空気
2	学校の清潔

新 発 売



100円

マッ白な歯をつくる

マッ白な歯磨

ホワイト  
ライオン